

平成 21 年度御殿場市環境マネジメントシステム

取組結果報告書

御殿場市では、平成 21 年度より御殿場市環境マネジメントシステム（EMS）を制定・運用し、環境推進活動を実施しています。

本システムは、市のすべての施設・組織・職員を対象として、事務及び事業活動に伴う環境の向上及び環境への負荷を継続的に低減するものです。

○平成 21 年度 達成状況

環境の向上及び環境負荷の低減に関する取組項目		目標	平成21年度実績値	達成度
省エネルギー・省資源の推進	温室効果ガス総排出量の削減	排出量 (t) (基準年度[H17]比) ※平成17年度実績3,600t 3,420t (△5%)	平成23年度までに 3,547t (△1.5%)	未達成
	電気使用量の削減	排出量 (t) (基準年度[H17]比) ※平成17年度実績1,997t 1,889.0t (△5.4%)	平成23年度までに 2,129t (6.6%)	未達成
	公用車燃料使用量の削減 (走行距離を含む)	排出量 (t) (基準年度[H17]比) ※平成17年度実績311t 295.8t (△4.9%)	平成23年度までに 255t (△18.0%)	達成
	その他の燃料使用量の削減 (A重油、灯油、都市ガス、LPG、ガソリン、軽油)	排出量 (t) (基準年度[H17]比) ※平成17年度実績1,292t 1,235.2t (△4.4%)	平成23年度までに 1,163t (△10.0%)	達成
	紙使用量の削減	紙使用量 (kg) 119,199kg以下(基準年度[H17])	平成23年度までに 108,699kg (△8.8%)	達成
	水使用量の削減	水使用量 (m ³) 186,724m ³ 以下(基準年度[H17])	平成23年度までに 167,165m ³ (△10.5%)	達成
廃棄物の減量化・リサイクルの推進	可燃ごみ排出量の削減 排出量(kg) (基準年度[H17]比) ※平成17年度実績123,436kg 118,869kg (△3.7%)	平成23年度までに 126,758kg (2.7%)	未達成	
	グリーン購入の推進	環境負荷ができるだけ少ない製品やサービスを優先的に購入 適合率70%以上	平成23年度までに 75.4% (5.4%)	達成

環境マネジメントシステムの取組項目を、電気使用量、公用車燃料使用量、暖房等に利用するその他燃料使用量からなる「温室効果ガス総排出量」、「紙使用量の削減」、「水使用量の削減」及び「グリーン購入の推進」とし、それぞれ削減目標等を設定しています。

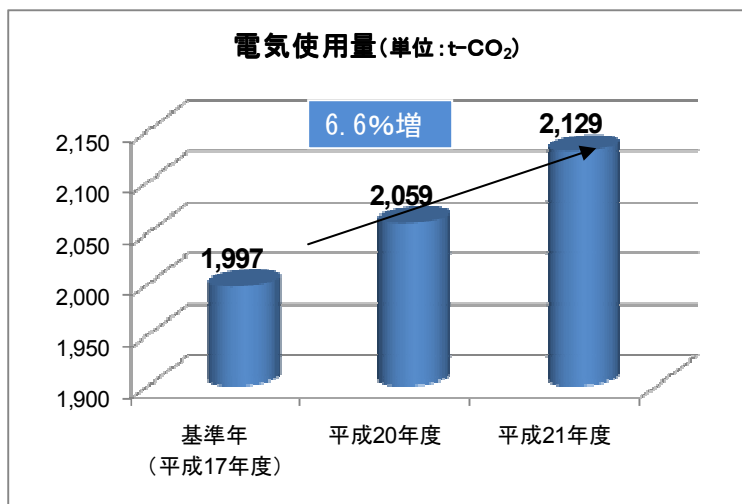
目標達成項目は、紙使用量の削減（基準年度より 8.8%減）及び水使用量の削減（基準年度より 10.5%減）、グリーン購入の推進（目標値より 5.4%向上）となっています。

目標未達成は、温室効果ガス総排出量の削減（基準年度より 1.5%減）、可燃ごみ排出量の削減（基準年度より 2.7%増）となり、目標達成に向け一層の取り組みが必要となります。

1. 省エネルギー・省資源の推進

(1) 温室効果ガス総排出量の削減

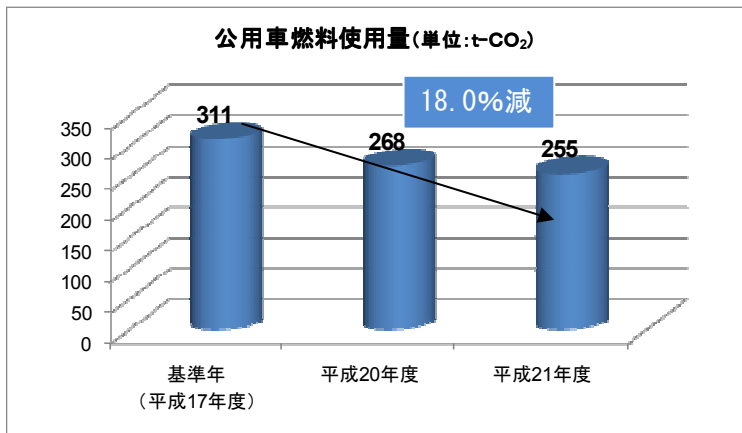
A 電気使用量の削減



電気使用量は、基準年（平成 17 年度）と比較すると 6.6%増加しており、平成 20 年度と比べても 70 t - CO₂ (3.4%) 増加しています。

増加している要因として、平成 20 年度に比べ、冬季の気温が低かったこと、公共施設の改修等による電気エネルギーへの変換による増加などの影響があげられます。

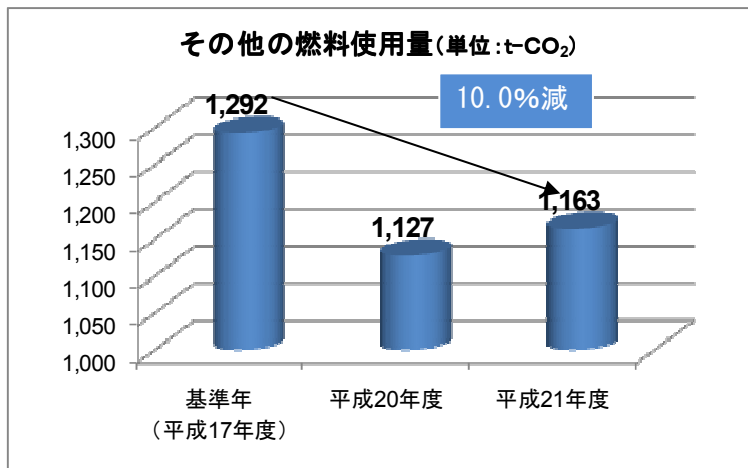
B 公用車燃料使用量の削減



公用車燃料使用量は、基準年（平成 17 年度）と比較すると、18.0%と大幅に減少しており、平成 20 年度に比べても、13 t - CO₂ (4.9%) 減少しています。

低燃費車導入や、エコドライブの徹底が要因と考えられます。

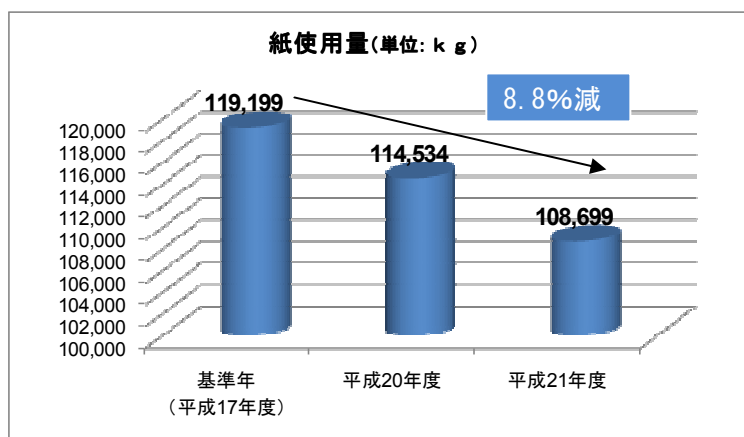
C その他の燃料使用量



その他の燃料使用量は、基準年（平成 17 年度）と比較すると、10.0%と大幅に減少していますが、平成 20 年度に比べると、37 t - CO₂ (3.2%) 増加しています。

増加している要因として、冬季の気温が低かったため、暖房器具に使用する灯油や LPG の使用量が増えたことがあげられます。

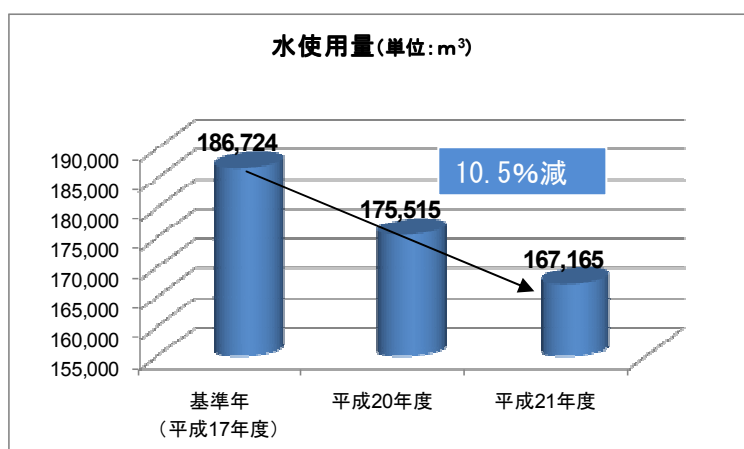
(2) 紙使用量の削減



紙使用量は、基準年(平成17年度)と比較すると、8.8%減少しており、平成20年度に比べても、5.1%減少しています。

減少した要因として、両面印刷の励行や発行物の枚数の見直し等を実施したことがあげられます。

(3) 水使用量の削減

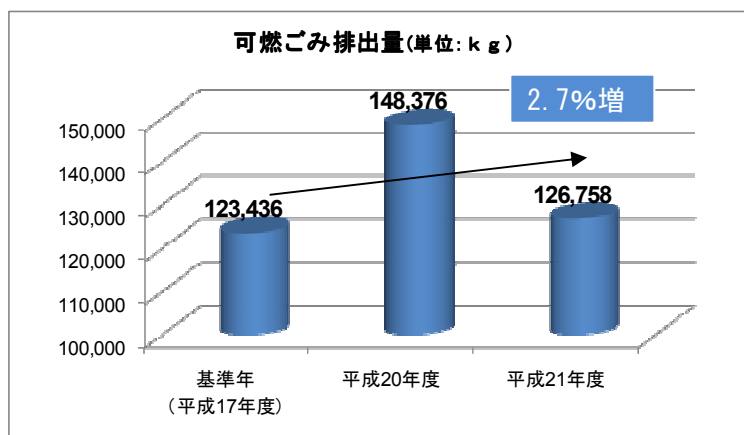


水使用量は、基準年(平成17年度)と比較すると10.5%減少しており、平成20年度に比べて、4.8%減少しています。

マネジメントにより節水への意識が高まり、使用量が減少したものと考えられます。

2. 廃棄物の減量化・リサイクルの推進

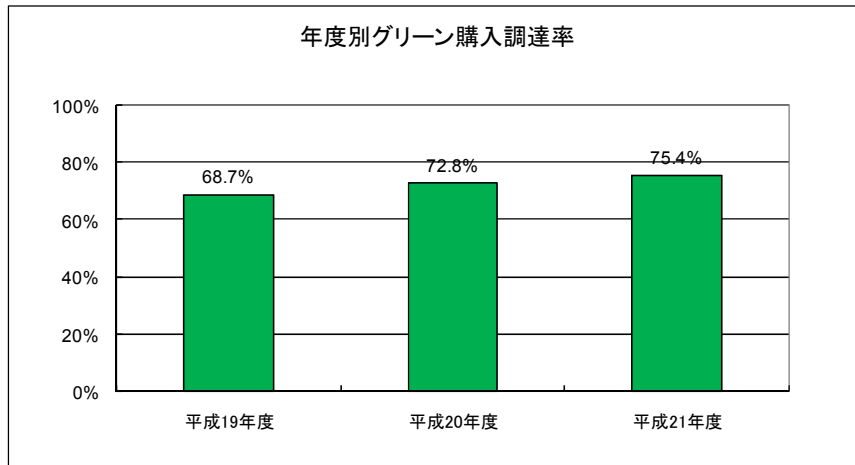
可燃ごみ排出量の削減



可燃ごみは、平成20年度に比べると14.6%と大幅に減少していますが、基準年(平成17年度)と比較すると、2.7%と増加しています。

3. グリーン購入の推進

グリーン購入調達率



平成 20 年度を 2.6 ポイント上回り適合品 75.4%、非適合品 24.6%となり、目標値である適合率 70%を達成しています。